

社会科学習指導案

4年〇組 指導者

1 単元名 「くらしをささえる水」

2 考察

(1) 教材

① 学習内容：学習指導要領の位置付け

・第4学年 2 内容(5)

・地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理について、次のこと（「飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり」「これらの対策や事業は計画的、協力的に進められていること」）を見学、調査したり資料を活用したりして調べ、これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考える。

② 主な伸ばしたい資質・能力

・飲料水を確保する対策や事業への関心

・節水など水資源を守るための自分たちの取組に学習したことを生かそうとする意欲

・飲料水の確保に関わる対策や事業について、学習問題や予想、学習計画を考える力

・飲料水の確保が組織的・計画的に進められ、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上が図られていることを考える力

・水の有効利用や節水のために自分にできることを判断する力

・飲料水の確保に関わる施設や設備を調査、見学したり、地図や統計などの資料を活用したりして必要な情報を集める力

・飲料水の確保の仕組みや働きを読み取り、作品にまとめる力

・飲料水は、自分たちの生活や産業を支える大切な資源であり、飲料水を確保するための対策や事業が計画的、協力的に進められ、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解する力

③ そのために必要な指導・学習活動

・児童の気付きや課題意識を基に、単元を貫く学習課題を設定する。

・「群馬県の水の概要や水の課題の資料」を活用し、群馬県の水の特徴や課題を調べ、理解する。

・「飲料水確保に対する群馬県の取組の資料」を活用し、安全な飲料水を確保するための取組をしなかったら自分たちの暮らしはどうなるかを考える。

・「水を大切にするために自分にできる取組の資料」を活用し、水を大切にするための取組のよさや大変さを考える。

・単元を通して学んだことを基に、生活に欠かせない水が、どこでどのようにつくり、送られてくるのか考え、単元を貫く学習課題についてまとめる。

④ 今後の学習の活用

・「住みよいくらしとごみ」の学習において、ごみの処理にかかわる対策や事業が、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを今の自分たちの生活とのつながりを意識しながら学習を展開する。

(2) 本単元に関わる児童の実態及び指導方針（男子〇名 女子〇名 計〇名）

① 既習の学習内容

・3年生で学習した前単元「じけんやじこがおきたら」において、警察署などの関係機関は地域の人々と協力しながらどのように事故や事件の防止に努めているのかを調べ、事故や事件から人々の安全を守るために関係機関がしている取組や人々が行っている工夫や努力について学習している。

② 本単元に関わる児童の実態及び指導方針

- ・児童は、前単元「じけんやじこがおきたら」において、人々の安全を守るための関係機関が行う働きについて学んでいる。地域の警察署などに従事する人々の様子を調べることを通して、関係機関は地域の人々と協力して、事故や事件の防止に努めていることを理解することができた。
- ・問題解決的な学習では、意欲的に調査活動に取り組むが、社会的事象の事実を把握するだけにとどまり、社会的事象相互のつながりを明らかにする段階までには至っていない。
- ・追究する過程において、自分たちの住んでいる地域の社会的事象と学習に関連する群馬県の概要や課題、群馬県として進めている取組の資料を活用し、群馬県全体の様子や取組を比較・関連付けて考えることにより、社会的事象が持つ多様な面に気付かせる。
- ・追究する過程において、地域社会のために地域の人々が行っている取組の資料を活用し、自分たちの住んでいる地域のために自分にできることを考え、社会的事象を異なった立場から考察させる。
- ・考え・まとめる過程において、自分たちの住んでいる地域の社会的事象を調べて分かったことと、資料集「ぐんまくん」を活用しながら考えたことを基に、特色としてどのようなことが見いだせるかをまとめ、グループで意見交換することにより、社会的事象の特色を広く捉えさせる。

3 研究との関わり

協力校の児童の学習状況を見ると、調べ学習には意欲的に取り組むが、社会的事象相互がどのようにつながっているかを適切に説明できない児童が多く、調べ学習がただ社会的事象の事実を把握するだけになってしまい、社会的事象の特色を解釈するまでには至っていない。知識の事実認識で終わらずに、社会的事象相互を比較・関連付けながら、どのようにつながっているか説明し、社会的事象の特色や相互の関連について考える力を高めることが重要である。

そこで、社会的事象の特色や相互の関連について考える力を育むために、問題解決的な学習に群馬県の統計や行政の取組などを知る具体的な資料を活用し、自分たちの住んでいる地域の社会的事象と群馬県全体の様子や取組を比較・関連付けて考える活動を取り入れていくことが大切であると考え。これらを通して、特色としてどんなことが見られるかを探っていくことができるようにする。社会的事象について調べたり考えたりしたことのつながりを説明しながら特色をまとめることにより、社会的事象の特色や相互の関連について考える力を高めていくようにする。

以上のように本単元において、社会的事象の特色や相互の関連について考える力を高めるために、資料集「ぐんまくん」を活用しながら、自分たちの住んでいる地域の社会的事象と群馬県全体の様子や取組を比較・関連付けて考えることは有意義なことだと考える。

4 単元の目標

- ・飲料水の確保と自分たちの生活や産業との関わりやこれらに関わる対策や事業が、計画的、協力的に進められ、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解し、節水など水資源を守るために協力できることを考え、進んで取り組もうとする。
- ・飲料水を確保するための対策や事業から学習問題を見だし、施設・設備を調査、見学したり、資料を活用したりして調べたことを作品にまとめるとともに、これらの対策や事業が地域の人々の健康の維持向上に役立っていることを自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現する。

5 指導計画（全14時間予定）

評価 規 準	関心・意欲・態度	飲料水を確保する対策や事業に関心を持ち、見学、調査や資料の活用を通して意欲的に調べるとともに、節水など水資源を守るための自分たちの取組に学習したことを生かそうとしている。
	思考・判断・表現	飲料水の確保に関わる対策や事業について、学習問題や予想、学習計画を考え、表現するとともに、飲料水の確保が組織的・計画的に進められ、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上が図られていることを考えたり、水の有効利用や節水のために自分にできることを判断したりして、それらを適切に表現している。

	観察・資料活用 の技能	飲料水の確保に関わる施設や設備を調査、見学したり、地図や統計などの資料を活用したりして必要な情報を集め、飲料水の確保の仕組みや働きを読み取り、作品にまとめている。	
	知識・理解	飲料水は自分たちの生活や産業を支える大切な資源であり、これを確保するための対策や事業が計画的、協力的に進められ、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。	
時間	過程	資料集「ぐんまくん」 で提示する主な項目	主な学習活動
第1～2時	つかむ		<ul style="list-style-type: none"> 健康で住みよい暮らしを支えている仕組みや人々の働きについて考える。 生活のどんな場面で水を使っているかを振り返り、使っている場面の様子を絵や文に表し、発表する。
		<ul style="list-style-type: none"> 大切な言葉の説明「給水」 	<ul style="list-style-type: none"> 一日にどれくらい水を使うかを予想する。 実際に一日に使う水の量を牛乳パックで表し、感想を発表する。 自分たちの住んでいる市の人口の変化と給水量のグラフ、水を手に入れる方法の移り変わりを比べ、気付いたことから学習問題をつくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><学習課題>わたしたちの生活に欠かせない水は、どこでどのようにしてつくり、送られてくるのでしょうか。</p> </div>
第3時～第12時	追究する	<ul style="list-style-type: none"> 大切な言葉の説明「浄水場」 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの使う水はどこから送られてくるのか予想する。 学校にある水道施設を調査して蛇口の水はどこからきているのか水の流れを逆にたどって調べ、市内にある水道に関連する施設や設備に気付く。 地図や写真などを用いて、自分たちの使う水が送られてくる経路を調べる。 水が送られてくる経路を調べて気付いたことや疑問に思ったことを話し合う。 浄水場見学の計画を立てる。(2時間)
			<ul style="list-style-type: none"> 浄水場を見学して、水がどのようにしてきれいで安全な飲料水になるのかを調べる。 きれいにするための機械や設備の仕組みを見付けたり、きれいにするための工夫を働いている人に聞いたりして、ワークシートにメモする。 写真を見たり地図を使ったりして、浄水場まで水がどのように送られてくるのか、また家庭に送られるのかを調べる。 浄水場が自分たちの生活に果たす役割について考え、まとめる。(3時間)
		<ul style="list-style-type: none"> 大切な言葉の説明「ダム」 	<ul style="list-style-type: none"> 神流川の水はどこからやってくるのか、地図帳を基に調べ、気付いたことを発表する。 ダムで働く人にインタビューしてダムの働きについて調べる。 過去の水利用の苦心や水を確保するための努力について調べる。
		<ul style="list-style-type: none"> 大切な言葉の説明「水源の森」 	<ul style="list-style-type: none"> 地図帳やパンフレットなどの資料を用いてダムの更に上流の水源林の様子や働きを調べ、分かったことを発表する。 水源や水源林を守る活動に携わる人や活動に協力する群馬県の担当者にインタビューしてきれいな川の水をどのようにして守っているのか調べる。 ダムと水源林に共通する働きについて考える。

		<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住んでいる市町村で使われる水の量が、あまり増えていないわけを考える。 水を大切に使うことが大事なわけを考え、水を無駄にしないための工夫を調べる。 大切な水を利用するため、どんなことに気を付ければ良いのか、水との付き合い方を考える。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 資料などを用いて使った後の水のゆくえを調べる。 下水処理施設の働きを調べる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県の概要「群馬県の水」 群馬県の取組「飲料水確保に対する群馬県の取組」 	<ul style="list-style-type: none"> 資料集「ぐんまくん」を活用し、群馬県の水や川の特色を調べる。 飲料水を確保するために群馬県として進めている取組を調べる。 群馬県が飲料水を確保するための取組をしている理由を考える。 	
第13時～第14時	考え・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 自分にできること「水を大切にするために人々がしていること」 	<ul style="list-style-type: none"> 資料集「ぐんまくん」を活用し、水を大切にするために人々が行っている取組の良いところを見いだす。 実現するためにはどのような工夫をすればよいかグループで話し合い、水を大切にするために自分にできることを考える。 水を大切にするために自分にできることをグループで紹介しながら意見交換する。 これまでに学習したことを振り返り、自分たちにできることを考え、話し合う。
			<ul style="list-style-type: none"> これまでに調べたことを基に学習課題に対する答えやこの学習で学んだことを文章にまとめる。 学習課題に対する答えやこの学習で学んだことをグループで意見交換する。

<資料集「ぐんまくん」で提示する主な項目>

- 大切な言葉を説明している資料
- 群馬県の水や川の概要の資料
- 飲料水確保に対する群馬県の取組の資料
- 水を大切にするために人々が行っている取組の資料

6 展開

(1) 12時間目／14時間

① ねらい

群馬県の水や川の特色を調べ、群馬県が安全な水の確保に取り組んでいる理由を考えることができる。

② 準備（教師）ワークシート

（児童）教科書、副読本、資料集「ぐんまくん」、ノート、

③ 展開

学習活動 （・予想される児童の反応）	時間	指導上の留意点及び支援・評価 （◎努力を要する児童への支援 〈評価〉）
1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しを持つ。	2	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><学習課題>群馬県の水や川について知り、安全な水を確保するためにしている取組について考えよう。</p> </div>		
・資料集を使って群馬県全体の水や川がどうなってい		

<p>るか考えよう。</p>		
<p>2 資料集「ぐんまくん」を使いながら群馬県の水や川について分かったことを探し、ワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群馬県のきれいな川は、山の方に多く、汚れている川は、平地の方に多い。 ・群馬県の川を汚している理由で多いのは、家庭から出る生活排水である。 ・きれいな川を守るために、下水道や浄化槽で生活排水をきれいにした後、川に戻している。 	12	<p>○資料の読み取りから群馬県全体の水や川の特徴をつかませる。</p>
<p>3 ワークシートに書いたことをグループ内で説明しながら意見交換する。</p> <p>4 意見交換したことを発表し、自分にはない考えを加筆・修正する</p>	8	<p>○グループでの意見交換やクラス全体での発表を通して新しく気付いた考えを書き加えるよう指示する。</p>
<p>5 資料集「ぐんまくん」を使いながら安全な水を確保するために群馬県がしている取組を探し、分かったことや考えたことをワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道水安全性検査を行い、川の水や地下水が浄水場で安全な水としてつくられているか確かめている。 ・毎日の生活や産業を支えている水の貴重さを分かっもらうために、ぐんまウォーターフェアを行っている。 ・飲み水として使っている川の水の中に農薬や有害な物質が入り込んでいるかを調べるために、群馬県水道水質監視をしている。 ・水不足になっても困らないようにするため、水の使用量を予想しながら、計画的にダムを作っている。 ・群馬県が安全な水を確保するための取組をしなかったら、安心して水を使うことができなくなり、困ってしまう。 ・群馬県が安全な水を確保するための取組をしているので、安心して水を使うことができ、健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っている。 	14	<p>○群馬県が安全な水を確保するための取組をしなかったら自分たちの暮らしはどうなるか考えることを通して、群馬県が安全な水の確保に取り組んでいる理由に目を向けさせる。</p> <p>◎記述が進まない児童には、群馬県が安全な水を確保するための取組をすると、どんな良いことがあるか考えさせ、記述を促す。</p> <p>○自分たちの住んでいる地域の飲料水の事業について調べたことと群馬県の様子や取組を比較・関連付けながら考えるよう促す。</p>
<p>6 ワークシートに書いたことを発表し、自分にはない考えを加筆・修正する。</p>	6	<p>○クラス全体での発表で、自分と友達の考えを比較させ、自分にはない考えに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇群馬県が安全な水の確保に取り組む理由を考え、ワークシートに書いている。(ワークシート)【思考・判断・表現】</p> </div>
<p>7 学習のまとめをし、次時の学習を知る。</p>	3	<p>○本時の学習を振り返り、分かったことをノートに書くよう指示する。</p> <p>○次時に、水を大切にするために自分にできることを考える学習をすることを伝える。</p>

(2) 13 時間目 / 14 時間

① ねらい

根拠を明らかにしながら水を大切にするために自分にできることを考えることができる。

② 準備 (教師) ワークシート

(児童) 教科書、副読本、資料集「ぐんまくん」、ノート

③ 展開

学習活動 (・予想される児童の反応)	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しを持つ。	2	
<学習課題>水を大切にするために、自分にできることを考えよう。		
・資料集を使って自分に何ができるか考えよう。		
2 なぜ水を大切にすべきなのか理由を考え、ワークシートに書く。 ・自分たちが使う水には限りがあるから。 ・安全な水をつくるためには、たくさんの人の力とエネルギーが必要だから。 3 ワークシートに書いたことを発表し、自分がない考えを加筆・修正する。	7	○これまでに学習してきたことを基に具体的に記述するよう助言する。 ◎記述が進まない児童には、どのようにして自分たちが使う水がつけられたのかを思い出させ、それを基に書くよう助言する。 ○自分と友達の考えを比較させ、自分がない考えに気付かせる。
4 資料集「ぐんまくん」を使いながら水を大切にするために人々が行っている取組の良いところや大変なところを考え、ワークシートに書く。	16	
5 ワークシートに書いたことをグループ内で説明しながら意見交換する。 6 意見交換したことを発表し、自分がない考えを加筆・修正する。	10	○グループでの意見交換やクラス全体での発表を通して新しく気付いた考えを書き加えるよう指示する。
7 水を大切にするために自分にできることを考え、ワークシートに書く。 8 ワークシートに書いたことを発表する。	7	○水を大切にすることの方策について実現するための工夫も書かせ、自分なりのプランを考えさせる。 ○自分たちの住んでいる地域の飲料水の事業について調べたことと地域の人々が行っている取組を比較・関連付けながら考えるよう促す。 ○水を大切にするために自分にできることを考える活動を通して、自分自身も実践していこうとする意識を持たせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◇明確な根拠 (実現可能性) を示しながら水を大切にするために自分にできることを考え、ワークシートに書いている。(ワークシート)【思考・判断・表現】 </div>
9 学習のまとめをし、次時の学習を知る。	3	○本時の学習を振り返り、分かったことをノートに書くよう指示する。 ○次時に、単元を貫く学習問題の答えを導

		き出す学習をすることを伝える。
--	--	-----------------

(3) 14 時間目 / 14 時間

① ねらい

飲料水を確保するためにどのような対策や事業が行われているかを理解することができる。

飲料水を確保するための対策や事業が、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の向上に役立っていることを考えることができる。

② 準備 (教師) ワークシート

(児童) 教科書、副読本、資料集「ぐんまくん」、ノート

③ 展開

学習活動 (・予想される児童の反応)	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 <評価>)
1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しを持つ。	2	
<学習課題> 「くらしをささえる水」の学習の学習課題の答えをまとめ、友だちに説明しよう。		
・これまで学習してきたことを基に答えをまとめ、説明しよう。		○単元を貫く学習課題の内容を確認し、どのように追究すればよいかの見通しを具体的に持たせる。
2 学習課題の答えや学習をして学んだことをワークシートに書く。	25	○これまでに調べ記入してきたワークシートを基に学習問題の答えを導き出し、ワークシートにまとめるよう指示する。 ◎記述が進まない児童には、川の水が浄水場でどのようにきれいにされているかをワークシートから探し、書くよう促す。
3 ワークシートに書いたことをグループ内で説明しながら意見交換する。 4 意見交換したことを発表し、自分にない考えを加筆・修正する。 ・くらしをささえる水の学習をして、生活に欠かせない水は、川から取り入れた水を浄水場できれいにし、送られてくるのが分かった。わたしたちが使う水を確保するための様々な取組は、地域の人々が住みよい環境の中で健康な生活をするのに役立っている。これからは、限りある資源である水を大切に使いたい。	15	○グループでの意見交換やクラス全体での発表を通して新しく気付いた考えを書き加えるよう指示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">◇生活に欠かせない水が、どこでどのようにしてつくられ、送られてくるのを理解し、ワークシートに書いている。 (ワークシート) 【知識・理解】</div>
5 学習のまとめをする。	3	○本時の学習を振り返り、分かったことをノートに書くよう指示する。